



水稻 (福井米)

病虫害防除速報

ニカメイチュウの発生に注意!!

J A 福井県
福井基幹支店

近年、管内の全域でニカメイチュウの被害が拡大しています。

ニカメイチュウは、幼虫が水稻の茎や芯葉に食入し、心枯れや変色茎などの被害をもたらします。発生源は、稲わらや刈株などで越冬した幼虫で、5月下旬ごろに羽化し、水田へと飛来します。今年のニカメイガ第1世代の発生最盛期は平年より早く7月20日頃となる見込みです。近年は、一部の地域では被害が拡大しています。例年、発生が見られる地域や箱施用剤を使用していない場合は、被害が出る可能性が高くなりますので注意しましょう。

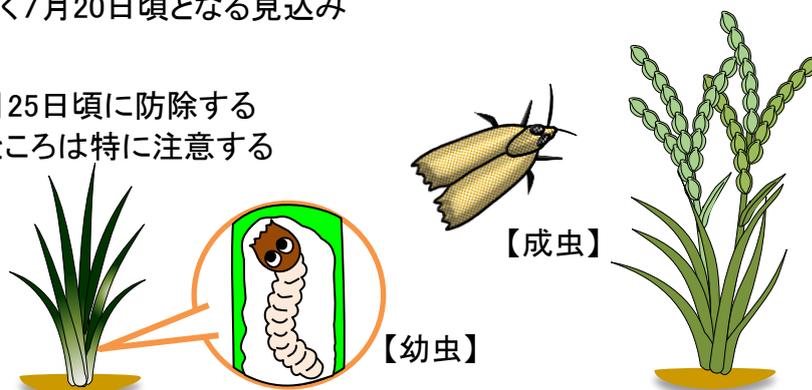
1. ニカメイチュウ(ニカメイガ)

【予察】

- 第1世代の発生最盛期は平年より早く7月20日頃となる見込み

【防除ポイント】

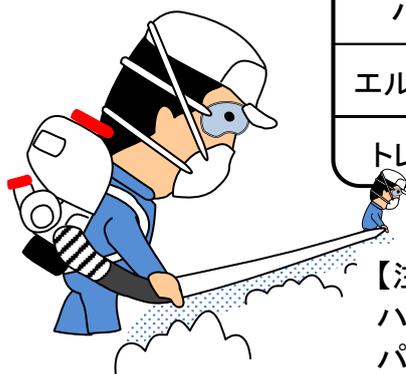
- 粒剤は7月20日頃、粉剤・液剤は7月25日頃に防除する
- 前年の多発地や芯枯れがみられるところは特に注意する
- 箱施薬を散布しなかった圃場
- 直播や熟期が遅い品種(あきさかり・日本晴等)を作付けした圃場



2. 防除薬剤

既に発生している圃場では6月末頃から、茎が黄色く変色する「心枯れ」が見られます。「心枯れ」の株の割合が10%を超える場合は、箱施薬をしている圃場でも防除を行ってください。

薬剤名	10a当たり散布量	防除適期	使用基準
パダン粒剤4	3~4kg	7月10~15日頃	収穫30日前まで
エルサン粉剤3DL	3kg	7月15~25日頃	収穫7日前
トレボン粉剤DL	3~4kg	7月15~25日頃	収穫7日前



【注意】

ハナエチゼンの場合、パダン粒4は7月15日以降は絶対使用しない。
パダン粒4は、散布後、湛水状態を7日以上保ってください。



適期防除で収量・品質向上を目指しましょう。病虫害防除速報は『北部支店』が担当しました。